

平成22年度 国語総合のシラバス

1 科目名, 単位数, 履修学年, 履修区分, 使用する教科書

科目名	国語総合	単位数	2	履修学年・区分	1 学年 2 単位
使用する教科書	第一学習社 新編国語総合				
副教材等	なし				

2 学習目標

国語を適切に表現し, 的確に理解する能力を育成し, 様々な作品に触れることによってものの見方, 感じ方, 考え方を広げ心情を豊かにする。また言語感覚を磨き, 言語文化や日本の現代文化, 古典文化などに幅広く触れさせ, 国語に関する関心を深め, 国語や文芸作品を尊重し敬愛し, 日本人であることの誇りを持てるようにすると共に, 自立した社会人として通用する国語常識や普遍的なものの見方や考え方を育成する。

3 学習方法

- ①教科書を繰り返し音読する。
- ②プリントを用いて漢字の練習を行う。
- ③ワークシートを利用し読解を深める。

4 学習計画

学期	月	学習内容 (単元名)	学習事項・学習活動	評価のポイント
第1学期	4	新しい出会い 「一日ですっかり変わってしまうこともある」	1年間の学習計画を理解する。 随筆の読み方の習得。自己を見つめ確立していく力の養成。	正しく内容が理解できたか。 漢字練習プリント, ワークシート及びノートの提出。
	5	古文入門 「児のそら寝」	①歴史的仮名遣いを理解する。 ②話のあらすじを理解する。 ③四段活用の理解。	歴史的仮名遣いを理解し, 話のあらすじを理解できたか。 四段活用を理解できたか。
	6		④品詞 (動詞・名詞・形容詞) の理解。	品詞の違いを理解できたか。
	7	小説を読む 「散髪」	短編小説のおもしろさを味わい, その鑑賞の仕方を学ぶ。 登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。	正しく内容が理解できたか。 漢字練習プリント, ワークシート及びノートの提出。
第2学期	9	漢文入門 「訓読に親しむ1」 「訓読に親しむ2」	漢文を理解する上での基本的な事柄について, その原則を知る。漢文の訓読になれる。	漢文の訓読ができるか。 返り点の理解ができたか。 ワークシート及びノートの提出。
	10	詩の楽しみ 「道程」「小景異情」「六月」 小説を読む 「指」	近代詩・現代詩に親しむ。 詩を読み味わう方法を学ぶ。 登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。	日本における詩についての理解 詩形の理解。 漢字練習プリント, ワークシート及びノートの提出。
	11	生活の中の表現 「日本語のこころ」	論理的な文章の展開・構成を理解しながら, 筆者の主張を的確に捉える。	論理的な文章の構成を理解できたか。漢字練習プリント, ワークシート及びノートの提出。
	12	物語を楽しむ 「かぐや姫のおひたち」	古語辞典を利用し口語訳ができるようにする。 下二段活用・上二段活用の理解。	重要古語を辞書で調べられたか。内容が理解できたか。 下二段活用・上二段活用が理解できたか。
		人間と社会	日本語の特質を理解する。	国際社会の中での日本語の特質

第 3 学 期	1	「あいまいな日本人」	日本人の考え方の傾向を理解する。	が理解できたか。 漢字練習プリント、ワークシート及びノートの提出。
	2	故事成語 「五十歩百歩」	故事成語を通じて、古代中国人の考え方を知り現代との共通点を見いだす。	故事成語の意味が理解できたか。返り点の理解・書き下し文ができたか。ワークシート及びノートの提出。
	3	小説を読む 「鉄道員」	短編小説のおもしろさを味わい、その鑑賞の仕方を学ぶ。登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。	正しく内容が理解できたか。 漢字練習プリント、ワークシート及びノートの提出。

5 学習評価

(1) 評価の観点及び内容について

以下に示す三つの観点に基づき、学習内容のまとめりごとに評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。

なお、学習計画に示された「評価のポイント」は三つの観点と結び付いた具体的な評価基準と考えます。

評価の観点及び内容	
1 授業・教材に対する「関心・意欲・態度」	教科書・ノートをきちんと用意し、ワークシート、漢字練習等のプリントを提出したか。
2 読解力・表現力	内容を理解し、それを文章によって表現できたか。
3 漢字力・語彙力	漢字テストで合格できたか。

(2) 「評価の観点」の評価方法について

学習状況の観察・提出物・ノート・定期考査によって評価します。